

リスクコミュニケーションの検証に係る検討について

1. 前回以後の検討の経過

意見交換会のチェックリストを中心に議論し、チェック項目（参加者属性、時間配分など）、アンケートの分析方法等について意見を頂いた。また、食品安全委員会が行うリスクコミュニケーションには、意見交換会以外にも食品安全モニター、食の安全ダイヤル等の取組みがあり、これらは食品安全委員会への外部からの貴重なご意見の一端として、意見の趣旨と背景を良く理解し必要に応じて追加の説明も頂き適切に対応するなど、双方向性を強化してゆく方向での重要な検討課題としてチェックリスト案が用意されつつあるが未完成であり、十分検討し次回以降に専門調査会に提案し議論するものとした。

2. 検証を効果的にすすめるための方策

リスクコミュニケーションに対するニーズと検討事項の整理（事務局からの提案）

検証を効果的にすすめるために、リスクコミュニケーションに必要となる要素とリスクコミュニケーションを実施するにあたって検討すべき事項との関係を整理する。

リスクコミュニケーションに必要となる要素は、リスクコミュニケーションの検証の指標ともなり得るため、どの要素を満足することが重要かについて議論し検証につなげてはどうか。